

挑戦する勇気と英語でつながる喜びーアメリカ留学を通じて

私は高校生の頃から英語や海外に興味を持ち、大学生になったら留学したいと考えていました。今回、プレスビテリアン大学のプログラムに参加し、約1か月間アメリカで生活しました。

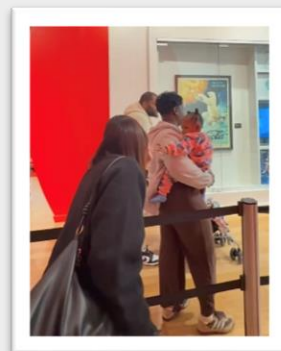
留学前は、外国人と英語でコミュニケーションを取りたいという思いがありながらも、自分の英語力に自信がなく、大学の授業でも積極的に発言することができませんでした。しかし、アメリカでの生活は想像以上に自由で充実したもので、帰国する頃には「将来は外国人と関わる仕事に就きたい」「何度でも海外に行きたい」と思えるようになりました。

特に印象に残っているのは、現地の学生やスタッフとの交流です。日本語が通じない環境の中で、分からないことや必要なことはすべて英語で伝えなければなりません。最初は、洗濯機の使い方やゴミの捨て方を聞くことさえ難しく感じていましたが、次第に自分から積極的に質問し、コミュニケーションを取ることができるようになりました。

また、アトランタへ3時間で到着する予定が渋滞により5時間かかった際には、「渋滞」という日本語を教え合うなど、言語の違いを楽しみながら交流することができました。

さらに、アメリカの文化に触れる中で、日本との違いにも多く気づきました。スーパーのレジで“Have a good day!”と声をかけ合う文化や、街中で初対面の人とも気さくに会話を交わす環境はとても新鮮でした。こうした経験を通して、「英語で人とつながる楽しさ」を実感しました。

留学中に特に意識していたのは、「間違いを恐れずに英語を使うこと」です。完璧な英語で話すことよりも、まずは伝えようとする姿勢と笑顔を大切にしました。最初は単語しか出てこないこともありましたが、徐々に自信を持って話せるようになり、自分自身の成長を感じることができました。



この留学で最も成長したと感じているのは、「挑戦する力」と「行動力」です。自ら行動を起こさなければ何も始まらない環境の中で挑戦を続けたことで、多くの人と出会い、さまざまな経験をすることができました。これまでの私は、理由をつけて諦めてしまうこともありましたが、挑戦することこそが成長や新たな可能性につながると気づき、積極的に行動できるようになりました。



この経験は、英語力の向上だけでなく、自分の価値観や考え方にも大きな影響を与えてくれました。英語は世界中の人々とつながり、笑い合うことができる素晴らしい言語です。これからも英語力を高めながら、自分の可能性を広げ、さまざまなことに挑戦し続けます。そして、自分の目でまだ見たことのない景色を見に行きたいです。